

保護者等向け

児童発達支援評価表

記入年月日:令和 2年 3月 12日

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	10	1	0	0	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	6	3	1	1	スタッフの入れ替わりが多い為不安に思うことはある。残っているスタッフの方はしっかり子どもに対応して下さり意見はないが、大変そうで体調が心配です。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境※ i になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	9	1	0	1	フラットな空間で明るい。 イラストカードを貼ってあるので子どもに分かりやすいと思う。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	11	0	0	0	清潔感があり、明るく過ごしやすい空間です。
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画※ ii が作成されているか	10	1	0	0	
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	10	1	0	0	保護者の希望に合うように考えてもらっています。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8	1	0	2	要望に対して出来る限り対応してもらっていると感じます。
	8 活動プログラム※ iii が固定化しないよう工夫されているか	10	0	0	1	
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	2	1	5	交流の場があるのかわからない。
保護者への説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	11	0	0	0	契約時に説明をしてもらいました。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	11	0	0	0	
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング※ iv 等)が行われているか	4	3	2	2	慮育センターでペアレントトレーニングを覚えてもらったがデイではそのような学習会等は無い。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	10	1	0	0	送迎時に連絡事項やデイに対する希望を伝えていきます。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	7	2	0	2	定期的とはいえない。
15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	3	0	2	クリスマス会や遠足で保護者同士で話ができる機会があります。保護者同士のつながりは個々による場合が多い。自身が参加していないこともあり分からない。	

	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	8	2	0	1	お願いごとに対して対応してもらっているが、全スタッフに伝わっているか不安に思う点もある。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	9	1	0	1	連絡帳や電話、送迎時に話をすることができる。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	9	1	0	1	行事予定表が配られるので内容を確認できます。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	10	0	0	1	
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	7	1	0	3	マニュアルがあるのか分からない。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	9	0	0	2	月に一度、避難訓練と交通安全指導がされている。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	9	2	0	0	外遊びも好きで活動的なので、沢山遊べて喜んで通所している。その日のコンディションにもよりますが楽しく参加しています。プログラムによって気分も変わる様子です。
	23	事業所の支援に満足しているか	8	3	0	0	車が無いことも有り自分達で連れていくことができない場所にも連れて行ってもらえ、親の体調不良時の時とても助かった。年齢が上がったことにより、生活習慣より学業を重視する支援が変わってきた。

※ i 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

※ ii 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

※ iii 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※ iv 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

.....

(保護者の皆様へ)

この度は、アンケートにご協力をいただきまして誠にありがとうございました。
保護者様よりいただいたお声を元に、今後の活動への反映をしていながら、より良いサービスと質の向上を目指してまいります。